

肥後細川家に伝わる美術工芸品は、四季折々の風物、愛らしい動物、人物、文学モチーフなど、さまざまなデザインで溢れています。それらは、視覚的な楽しさをもたらすだけでなく、何かを暗示したり、ある願いが込められていたり、意味を持つものが少なくありません。本展では、屏風や装束、文房具を中心とした漆工品、刀装具をとおして、豊富な文様・デザインの世界をご紹介します。



唐子遊園屏風 狩野惟信筆 江戸時代後期 永青文庫所蔵(熊本県立美術館寄託)

展覧会名：大名調度を彩るデザインの世界

会 期：2019年8月31日(土)～10月9日(水)

開館時間：10:00～16:30 (入館は16:00まで)

休 館 日：毎週月曜日 (但し9/16・23は開館し、9/17・24は休館)

会 場：永青文庫 (東京都文京区目白台1-1-1)

入 館 料：一般800円(700円)、シニア(70歳以上)600円(500円)、

大学・高校生400円、中学生以下無料

※( )内は10名以上の団体料金。

障害者手帳をご提示の方およびその介助者(1名)は無料。

会期中のイベント <ミニスライドトーク>

展覧会の見どころを担当学芸員が解説します。

日時：2019年9月14日(土)・21日(土) 14:00～

(各回20分程度)

会場：永青文庫 2階会議室 (開場13:45～)

定員：20名(先着順)

※申込不要、参加無料(要入館料)



# 昨年につき、大名美術入門PART2として大名調度や装束をデザインから読み解きます！

## 装束にみるデザイン

本年は永青文庫設立者(細川護立)の母・宏子が亡くなって、ちょうど100年。この節目の年に、打掛や小袖を特別展示します。



水色地燕海辺文様小袖(細川宏子所用)  
江戸時代後期 熊本県立美術館所蔵 \*



燕は縁結びモチーフ!!



細川宏子(明治元年撮影)  
細川家所蔵 \*

<細川宏子とは>

永青文庫の設立者である細川護立(1883~1970)の母・宏子(1851~1919)。嘉永4年(1851)に佐賀藩10代藩主・鍋島直正の娘として生まれ、明治元年(1868)に細川家14代・護久のもとへ嫁いできます。細川家には、宏子自筆の絵画や、輿入れの際の婚礼調度、装束が多数伝わっています。

## 工芸品にみるデザイン

文房具などにあらわされたデザインの多様な世界をご紹介します。



橋桜九曜紋蒔絵硯箱 江戸時代中期



景物だけで  
『源氏物語』の世界を表現!!



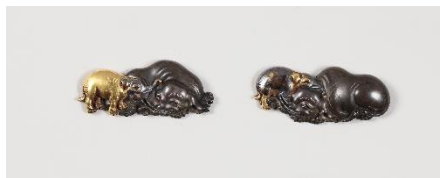
椿蒔絵詠草箱 原羊遊斎作 江戸時代後期



表は椿で裏は紅葉の  
潇洒なデザイン

## 刀装具にみるデザイン

刀を飾る三所物など、おしゃれで小さな部分に注目します。



象図目貫 横谷宗珉作 江戸時代中期



頼政鶴退治図三所物 後藤程乗作 江戸時代前期

\* 以外は、永青文庫所蔵